

## 学校の実態

### (1) 学校のあゆみ

平成19年3月31日で閉校した小沢田小学校と沖田面小学校が同4月1日を以って統合し、これまでの上小阿仁中学校を校舎とする、小・中併設校となった。前沖田面小学校は、南沢・八木沢・萩形・中茂・大錠の各分校の廃校を、また、前小沢田小学校は屋布・折渡の両分校の廃校、仏社小学校との統合を経ている。学区は、小沢田地区の12地区と沖田面地区の10地区からなる。

児童生徒数は小学校84名、中学校75名、計159名である。学級数は、小学校7学級（内特別支援学級1）、中学校3学級である。世帯数は小学校65、中学校71、小・中学校114である。

### (2) 保護者・地域の実態

小阿仁川流域に位置する上小阿仁村は、古くから林業の村である。保護者・地域の人々は、少子高齢化の進む中において、地域に元気を発信する学校教育に寄せる期待が大きい。PTA活動や学校後援会等の学校に対する理解や支援は、地域社会と一体となった教育活動を進める上で大きな力となっている。

保護者に対するアンケートから、小学生には、けじめのある行動や家族としての協力、学習意欲の向上を強く望んでおり、中学生には、学習意欲の向上やけじめのある行動、家族としての協力を強く望んでいる。また、村民に対するアンケートから、児童生徒のあいさつや校報「みどり」による情報発信がよいと評価されているが、来校する機会の設定が求められている。

### (3) 児童生徒の実態

統合・併設による環境の変化はあるが、明るく素直で活動的である。学習・運動に意欲的に取り組んでいる。また、小学生・中学生共に仲良く声を掛け合う姿が見られ、人間関係も良好である。

### (4) 平成21年度学校関係者評価より

学校評議員による学校関係者評価では、次のように評価されている。

項目	内容	評価
I 自主的・自立的な生活	規律ある生活の中で、明るく心のこもったあいさつや返事、感謝のことばを言える主体性や責任感を育もうとしている。	良好
II 思いやりの心・たくましい心	互いの良さを認め合い、思いやりの心やたくましい心、豊かな人間性を育もうとしている。	概ね良好
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心を持ち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	概ね良好
IV 基礎学力	基本的学習習慣を身につけさせながら、学力を向上させようとしている。	概ね良好
V 組織運営	教職員が重点目標を意識し、主体的かつ組織的に取り組んでいる。	良好
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が理解され、保護者や地域の教育力が生かされている。	良好

## 経営の方針

- (1) 本県学校教育が目指す教育方針、北の教育指導計画をよりどころとし、上小阿仁村の教育重点施策を踏まえながら経営にあたる。
- (2) 学校はその地域のシンボルであり、心のよりどころである。それだけに愛着と期待が寄せられている。学校はこれに応える努力を惜しまず家庭や地域のもつ教育力を生かし、子ども・家庭・地域の実態を十分考慮しながら教育推進を図る。
- (3) 知・徳・体の調和のとれた豊かな人間形成を目指し、一人一人の子どもが明るく元気になかよく活動し、楽しい学校生活を送れるような経営に努める。
- (4) 一人一人の子どもを理解し、個性・能力に応じた教育を進めるため、子どもとのふれ合いとかかわりを大切に「めあてをもたせ、見とどけ、励まし、認めながら」学ぶ楽しさ、活動する喜びを味わわせる教育活動を進めていく。
- (5) 小中の職員が連携（協同）し、9年間の育ちに責任を持って経営にあたる。